別添資料

事案①

事故者	当組合元職員（男性、20代）
事故発生店	白河支店
事故発生期間	平成20年11月28日～平成21年5月14日
事件発覚日	令和6年7月11日
被害にあわれたお客様	6先
事故金額	248,000円（累計事故金額 248,000円、実損額 0円）
事故の手口	定期積金掛込金の着服 定期積金掛込金の立替入金
事故者の処分等	本件は、当組合における懲戒処分事由に該当しているにも関わらず、当時の経営陣は処分をしておらず、事故者は、平成21年10月31日付で、自主退職している状況にありますが、当組合としては、在籍時同様の取扱いとして、出来る範囲の責任追及を行っていく方針です。

事案②

事故者	当組合元職員（男性、10代）
事故発生店	朝日支店
事故発生期間	平成24年12月11日～平成25年3月15日
事件発覚日	令和6年7月11日
被害にあわれたお客様	13先
事故金額	662,000円（累計事故金額 662,000円、実損額 0円）
事故の手口	定期積金掛込金の着服
事故者の処分等	本件は、当組合における懲戒処分事由に該当しているにも関わらず、当時の経営陣は処分をしておらず、事故者は、平成25年5月9日付で、自主退職している状況にありますが、当組合としては、在籍時同様の取扱いとして、出来る範囲の責任追及を行っていく方針です。

事案③（調査報告書A氏）

事故者	当組合元職員（男性、10代）
事故発生店	日和田支店
事故発生期間	平成24年11月2日～平成25年5月21日
事件発覚日	令和6年5月23日
被害にあわれたお客様	7先
事故金額	2,636,000円（累計事故金額 2,636,000円、実損額 0円）
事故の手口	定期積金解約金の着服 定期預金解約金の着服
事故者の処分等	本件は、当組合の懲戒処分事由に該当しているにも関わらず、当時の経営陣は処分をしておらず、事故者は、平成25年6月25日付で、自主退職している状況にありますが、当組合としては、在籍時同様の取扱いとして、出来る範囲の責任追及を行っていく方針です。

事案④

事故者	当組合元職員（男性、20代）
事故発生店	須賀川支店
事故発生期間	平成22年8月5日～平成26年9月22日
事件発覚日	令和6年8月29日
被害にあわれたお客様	6先
事故金額	17,015,467円（累計事故金額 95,233,048円、実損額 0円）
事故の手口	定期預金解約金の着服 融資返済金の立替入金 浮貸し 保証料の立替入金 不正口座の開設 不正口座への融資実行 不正口座からの出金 不正資金の正規口座への入金 不正口座への入金
事故者の処分等	本件は、当組合の懲戒処分事由に該当しているにも関わらず、当時の経営陣は処分をしておらず、事故者は、平成31年3月8日付で、自主退職している状況にありますが、当組合としては、在籍時同様の取扱いとして、出来る範囲の責任追及を行っていく方針です。

事案⑤（調査報告書B氏）

事故者	当組合職員（男性、30代）
事故発生店	本宮支店、桜通支店
事故発生期間	平成25年5月31日～平成27年2月26日
事件発覚日	令和6年3月5日
被害にあわれたお客様	4先
事故金額	5,445,190円（累計事故金額 5,445,190円、実損額 0円）
事故の手口	融資実行金の着服 定期積金解約金の着服 定期積金掛込金の着服
事故者の処分等	本件は、当組合の懲戒処分事由に該当しているにも関わらず、当時の経営陣は処分をしていないため、当組合としては、組合規程に沿った処分、出来る範囲の責任追及を行っていく方針です。

事案⑥

事故者	当組合元職員（男性、20代）
事故発生店	本店営業部
事故発生期間	平成27年2月6日～平成27年9月3日
事件発覚日	令和6年3月29日
被害にあわれたお客様	11先
事故金額	352,000円（累計事故金額 352,000円、実損額 0円）

事故の手口	定期積金延滞先への自己資金による立替入金
事故者の処分等	本件は、当組合の懲戒処分事由に該当しているにも関わらず、当時の経営陣は処分をしておらず、事故者は、令和6年8月31日付で、自主退職している状況にありますが、当組合としては、在籍時同様の取扱いとして、出来る範囲の責任追及を行っていく方針です。

事案⑦

事故者	当組合元職員（男性、20代）
事故発生店	本宮支店
事故発生期間	平成28年6月30日～平成29年4月20日
事件発覚日	令和6年5月23日
被害にあわれたお客様	1先
事故金額	477,650円（累計事故金額 477,650円、実損額 0円）
事故の手口	顧客ローンカードの不正利用による着服
事故者の処分等	本件は、当組合の懲戒処分事由に該当しているにも関わらず、当時の経営陣は処分をしておらず、事故者は、平成29年4月30日付で、自主退職している状況にありますが、当組合としては、在籍時同様の取扱いとして、出来る範囲の責任追及を行っていく方針です。

事案⑧（調査報告書D氏）

事故者	当組合職員（男性、40代）
事故発生店	本店営業部
事故発生期間	平成28年6月30日～平成31年4月2日
事件発覚日	令和6年4月15日
被害にあわれたお客様	8先
事故金額	3,210,000円（累計事故金額 6,873,629円、実損額 0円）
事故の手口	定期積金掛込金の着服 融資実行金の着服 融資手数料の着服 融資返済金の立替入金 延滞損害金の立替入金 年金担保融資に関する浮貸し 定期積金着服金の穴埋め金
事故者の処分等	本件は、当組合の懲戒処分事由に該当しているにも関わらず、当時の経営陣は処分をしていないため、当組合としては、組合規程に沿った処分、出来る範囲の責任追及を行っていく方針です。

事案⑨（調査報告書C氏）

事故者	当組合元職員（男性、20代）
事故発生店	富久山・日和田支店
事故発生期間	令和4年3月15日～令和4年4月26日
事件発覚日	令和5年2月20日

被害にあわれたお客様	20 先
事 故 金 額	544,000 円（累計事故金額 544,000 円、実損額 0 円）
事 故 の 手 口	定期積金掛込金の着服 普通預金入金分の着服
事 故 者 の 処 分 等	本件は、懲戒処分事由に該当しているにも関わらず、処分がなされないまま、事故者は、令和 4 年 6 月 10 日付で、自主退職している状況にありますが、当組合としては、在籍時同様の取扱いとして、出来る範囲の責任追及を行っていく方針です。

※事案①～⑨は令和 7 年 3 月 7 日現在で確定している被害額であり、余罪については現在調査中であります。

事案⑩

事 故 者	当組合職員（男性、20 代）
事 故 発 生 店	本店営業部
事 故 発 生 期 間	令和 6 年 8 月 7 日～令和 6 年 9 月 17 日
事 件 発 覚 日	令和 6 年 9 月 20 日
被害にあわれたお客様	1 先
事 故 金 額	5,850 円（実損額 0 円）
事 故 の 手 口	不適切な現金預かり管理（過剰金の未報告）
事 故 者 の 処 分 等	当組合の規定に基づき、厳正に処分いたしました。

以 上